



NWECC

国立女性教育会館2008

Guide to the National Women's Education Center of Japan

又エック概要

独立行政法人
国立女性教育会館

男女共同参画社会実現のための 学びの拠点—ヌエック (NWEC)

独立行政法人国立女性教育会館（ヌエック）は、わが国唯一の女性教育に関するナショナルセンターであり、男女共同参画社会の形成をめざし、女性教育指導者や関係者に対する研修、女性団体・家庭教育支援団体等の交流機会の提供、女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究、女性と家族に関する情報収集・提供の充実を図る学習の拠点としての役割を果たしております。

平成20年度は、男女共同参画の視点にたった学習プログラムの開発、国内外の機関とのより一層の連携・協力の推進、女性アーカイブセンターの開設等、30年のつみ上げの上に新たなステージに歩みを進めてまいります。

皆様のご利用とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 神田 道子

目 的	3
沿 革	4
事 業	5
平成20年度事業	5
女性教育情報センター	6
刊行物等	8
利用状況	10
トピックス	12
施 設	15
利用案内	18
国立女性教育会館ボランティア	19
運営委員会委員、外部評価委員会委員	20
組織図	21
施設配置	22



シンボルマーク
「両手を空に掲げ、希望に燃える女性像をデザイン化」したものです。

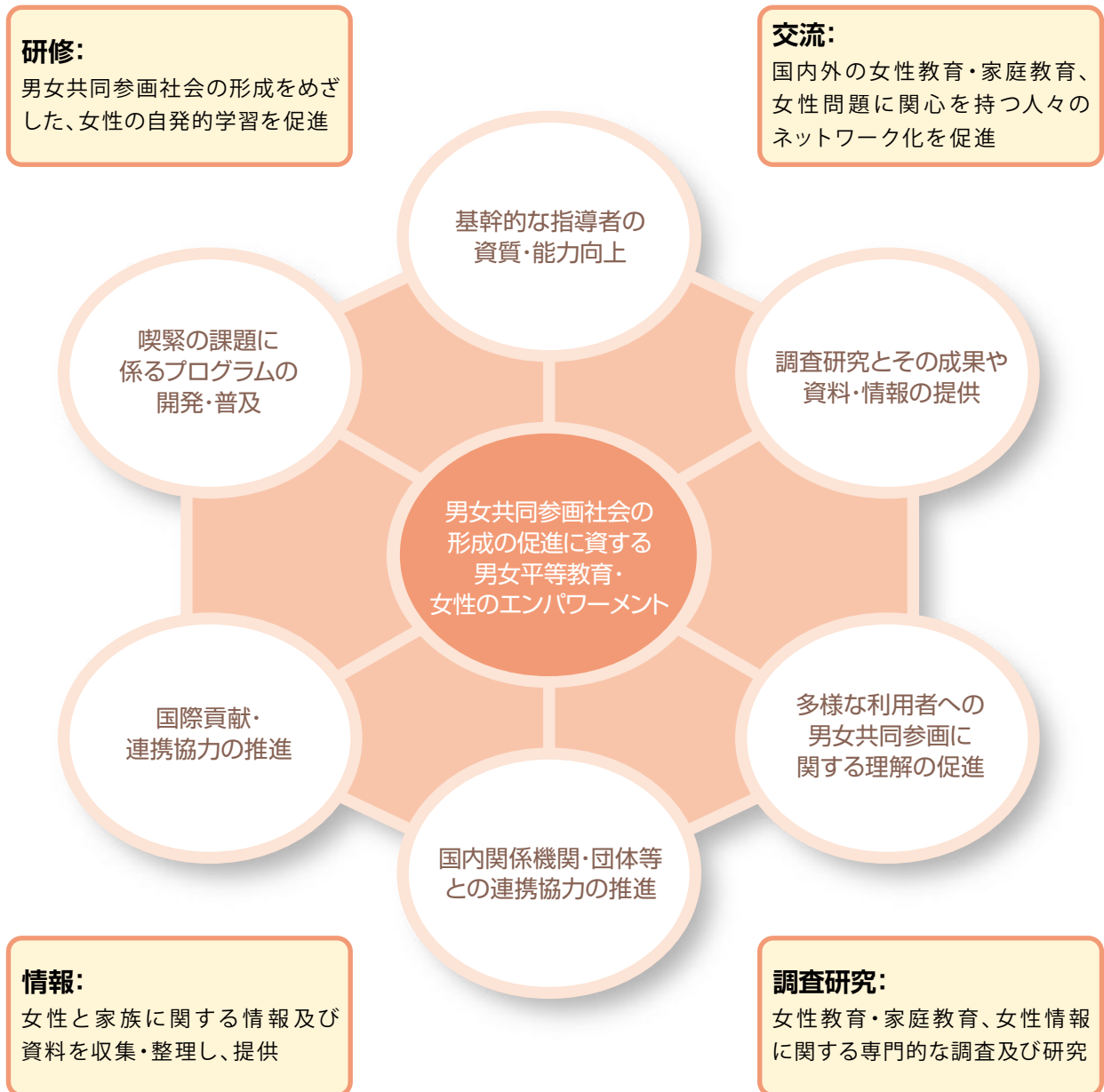
愛称「ヌエック」
「ヌエック」は英語名称 National Women's Education Centerの頭文字 NWECを読んだものです。



目的

独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的としています。

会館は、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基き、研修・交流・情報・調査研究の四つの機能を活用して各事業を実施しています。



中期目標(平成18～22年度)



「国立婦人教育会館」から「独立行政法人国立女性教育会館」へ

昭和46年	7月	婦人教育会館調査研究協力者会議発足
昭和52年	7月	文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設置される(庶務課(平成14年4月から「総務課」と改称)、事業課)
	10月	受け入れ事業開始
	11月	開館式
	12月	研修事業(全国婦人団体研究集会)開始
昭和53年	3月	「会館だより」(昭和60年8月から「国立婦人教育会館ニュース」、平成9年4月から「スエックニュース」に誌名変更)創刊
	4月	情報交流課設置(平成14年11月から「情報課」に組織変更)
	8月	国立婦人教育会館ボランティア登録開始
	9月	調査研究事業(婦人教育研究セミナー)開始
	12月	体育館・屋内プール完成
昭和54年	3月	日本家屋(響書院)・茶室(和庵)完成
	9月	婦人教育国内研修受け入れ事業開始
	10月	「婦人教育情報」創刊(平成9年3月終刊)
	11月	情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
昭和57年	11月	開館5周年記念事業開催
昭和59年	11月	「NWEC Newsletter」創刊
昭和60年	5月	情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告
昭和62年	5月	利用者100万人を超える
	11月	開館10周年記念事業開催、婦人教育情報センター開所(平成13年1月から女性教育情報センター」と改称)
平成3年	7月	オンライン情報検索サービス開始(平成11年1月からホームページを通してWINETデータベースを公開)
平成5年	4月	事業課に研究員配置、科学研究費補助金取扱規程が規定する「研究機関」となる
平成6年	3月	パソコン通信システム「WINET・BBS」導入
	4月	国立婦人教育会館将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来について」を報告
平成7年	10月	「国立婦人教育会館研究紀要」創刊(平成17年11月から「国立女性教育会館研究ジャーナル」に誌名変更)
	12月	ホームページをインターネットで公開
平成8年	11月	利用者200万人を超える
平成9年	1月	愛称を「スエック」に決定
	5月	公開シンポジウム開催(以後、毎年開催)
	11月	開館20周年記念事業開催、シンボルマーク決定
平成10年	3月	「WINET情報」創刊(平成14年3月 終刊)
平成11年	1月	ホームページからWINETデータベース、研修室・宿泊室予約状況等を公開
平成12年	3月	スエック女性情報ニューシステム(ウイネットキャス=WinetCASS)公開
平成13年	1月	名称を「国立女性教育会館」と改称
	4月	「独立行政法人国立女性教育会館」設立
	5月	TICT(ティクト, Training of ICT)サイト公開(平成15年度にて終了)
	7月	「独立行政法人国立女性教育会館運営委員会」設置(8月第1回委員会開催)
平成14年	11月	研究国際室設置
平成16年	2月	「女性関連施設相談担当者実務研修」開始
	7月	「キャリア形成支援推進セミナー」開始
平成18年	1月	女子栄養大学と連携協定を締結
	2月	日本女子体育大学と連携協定を締結
	4月	女性情報ポータル“Winet(ウイネット)”公開
	4月	韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結
	6月	利用者300万人を超える
	9月	韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結
平成19年	11月	開館30周年記念事業開催

事業



国立女性教育会館が主催する事業と女性教育、家庭教育等に関する研修・交流・調査研究・情報収集を計画する団体・グループ・個人が自主的に作成したプログラムによる事業があります。

希望により会館利用プログラムについての相談や、女性、家庭・家族に関する最新の情報提供を行っています。



平成20年度事業



国立女性教育会館は女性教育のナショナルセンターとしての役割を果たすため、内外の関係機関・団体等とのネットワークの拡大を図り、ヌエックが真に担うべき事業に重点化し、その成果の普及・活用を図ります。

□ 基幹的な女性教育指導者等の資質・能力の向上

- 地方公共団体等の基幹的指導者に対する男女共同参画及び女性教育を進めていく際に必要な総合的な知識等に関する研修及び調査研究を実施します。また、調査研究の成果を基に、基幹的指導者の資質・能力向上を目的とする学習プログラムや参考資料を作成します。
- ・ 女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修(6月)
【女性関連施設管理職コース】
【団体リーダーコース】
- ・ 女性関連施設に関する調査研究

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

- ナショナルセンターとして先駆的に喫緊の課題に関する調査研究を実施し、成果をもとにした学習プログラム・参考資料の開発・普及を図ります。
- ・ 地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究
- ・ 家庭教育・次世代育成支援指導者研修
【会館研修】「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」(5月)
【地域研修】「家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム」(11月～1月)
- ・ 女性のキャリア形成支援推進研修(10月)
- ・ 配偶者からの暴力等に関する相談員研修(11月)
- ・ 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(8月)

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する調査研究の成果や資料・情報の提供等

- 全国の女性関連施設等の有する女性教育に関するプログラムなどの地域レベルでは収集困難な広域的・専門的な国内外の資料・情報の収集、提供に重点化を図り、利用しやすいポータルとデータベースの構築を図ります。
- ・ 男女共同参画に関する統計の調査研究
- ・ 女性情報ポータルの整備充実
- ・ 女性アーカイブの構築
- ・ 女性・家庭・家族に関する情報資料の収集・整理・提供
- ・ レファレンス・サービス及び文献複写サービス
- ・ 女性・家庭・家族に関する図書資料の展示

男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

- 国際協力・連携に資する女性のエンパワーメント支援のために、開発途上国、特に国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) 加盟国の女性教育行政担当者及びN G O等関係団体の指導者に対する男女共同参画及び女性教育に関する参加型の実践的な研修を実施します。
- ・ アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー(11月)
- ・ 女性の教育推進セミナーⅡ(1月～2月)
- ・ 男女共同参画推進セミナーⅢ(11月～12月)
- ・ 女性のエンパワーメント国際フォーラム(12月)
- ・ 人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究



女性教育情報センター



女性教育情報センターは、女性及び家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web上で公開しています。(http://www.nwec.jp/jp/center/)

収集資料(平成20年3月末現在)

項 目		和		洋		計	
		19年度受入	累 計	19年度受入	累 計	19年度受入	累 計
図書資料	図 書	2,245 除籍△ 1,065	65,948	335 除籍△ 291	20,647	2,580 除籍△ 1,356	86,595
	地方行政資料	650	23,589	0	8	650	23,597
	計(冊数)	2,895	89,537	335	20,655	3,230	110,192
逐次刊行物	雑誌(タイトル数)	228	2,962	21	647(52か国)	249	3,609
	新 聞	0	74	0	1	0	75
そ の 他	新聞切り抜き	18,335	242,416	—	—	18,335	242,416
	ビデオフィルム	5	174	0	3	5	177
	研修貸出用資料	2	13	0	0	2	13

※除籍：資料の重点化を図った結果、重複資料や内容の古くなった資料を除籍

情報サービス

- 閲 覧**：女性教育情報センター内で自由に閲覧できます。研究用に閲覧用個室(2室)もあります。
- 貸 出**：会館内貸出及び女性センター・図書館等を通した館外貸出を行っています。
- レファレンスサービス**：利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えています。直接来館の他、電話や文書、Eメールでも受け付けています。
- 文献複写サービス**：所蔵資料について、文献複写サービスを行っています。直接来館の他、電話やインターネット・文書による申込みも受け付けています。

□ 女性情報ポータル“Winet”（ウィネット）（<http://winet.nwec.jp>）

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口です。

“Winet”は下記3つの要素で構成されています。

◆女性情報ナビゲーション

リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内。

◆国立女性教育会館作成のデータベース（別表参照）

◆女性情報CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索。

□ 国立女性教育会館作成データベース（件数は平成20年3月現在）

（女性教育情報センター所蔵資料のデータベース） 文献情報データベース	図 書 (69,697 件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループが刊行した資料等について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	雑 誌 (3,609 件)	一般出版社が刊行した逐次刊行物、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の女性広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ、ニューズレター等について、誌名、発行者、所蔵年、所蔵巻号を主なデータとして登録しています。
	地方行政資料 (20,122 件)	都道府県・市区町村の教育委員会、男女共同参画担当課(室) など地方自治体が刊行した資料について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	和 雑 誌 記 事 (53,942 件)	女性教育情報センター所蔵の逐次刊行物の中から、女性・家族に関する記事・論文を選択し、記事見出し、著者名、雑誌名、巻号、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等を主なデータとして登録しています。
	新 聞 記 事 インデックス (242,416 件)	・昭和52年10月～昭和63年度:全国紙・地方紙約60紙に掲載された、話題となった女性(人材)に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。 ・平成元年度以降:全国紙・地方紙約50紙に掲載された女性・家族全般に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。
女性関連施設データベース (概要 618 件/事業 11,806 件 情報事業 340 件 相談事業 305 件)	全国の公私立女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家等女性関連施設の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、2001年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。施設の名称、設置者、住所、設立年、設置目的、事業のねらい、プログラム、講師名、図書室等の面積、情報提供の種類、相談室の数、相談事業・特別相談事業の概要等を主なデータ項目としています。	
女性学・ジェンダー論 関連科目データベース (1,038 大学、23,917 科目)	大学、短大等の高等教育機関における女性学・ジェンダー論関連科目について、2000年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。開講大学名、科目名、科目内容、開講場所、担当教員名、一般公開・非公開、対象課程等の学務関係の内容を主なデータ項目としています。	
女性と男性に関する 統計データベース (551 件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計をあらゆる分野にわたって取り上げ、データベース化したものです。数値を示す統計表をエクセルで収録し、注記や出典となった調査名や資料名も参照できるようになっています。	
男女共同参画人材 情報データベース (589 件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に際して参考としていただくため、人材の情報提供を目的としたデータベースです。国立女性教育会館の各種事業にご協力いただいた講師、委員等の方々の情報について、ご承諾を得られた方の、了承いただいた項目のみ公開しています。	

□ 女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winet の各データベースへ組込まれています。五十音順リストとカテゴリー一覧、また用語やカテゴリーから検索できる用語データベースも提供しています。

□ 女性情報レファレンス事例集（167件）

女性関連施設でよくある情報相談（レファレンス）を、Q&A の形式でまとめた事例集です。男女共同参画に関わる様々な情報をお探しの方、また情報提供に携わるスタッフに役立つ事例を提供しています。

□ 女性のキャリア形成支援サイト

女性が様々な新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例（ロールモデル）、キャリア形成のための学習支援情報、関連情報を提供しています。

□ 情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っています。

□ 展示の実施

所蔵資料の紹介を目的に年4回のテーマ展示を行っています。今年度の展示テーマは次の通りです。

- ・ 4～6月「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現を目指して」
- ・ 7～9月「スポーツする女性たち」
- ・ 10～12月「高等教育における女性」
- ・ 1～3月「シングル女性の高齢期」



刊行物等



	資料名	内容	発行
定期刊行物	国立女性教育会館研究ジャーナル	男女共同参画の視点に立った生涯学習に関する国際的、学際的、実践的研究論文を公募して掲載する。会館の調査研究を国内外に発表するとともに公募論文を選考して掲載する。(有料頒布)	年1回
	又エックNews	会館の事業及び関連情報の紹介・広報。	年4回
	NWEC Newsletter	NWECの活動及び最新の日本女性の現状について英文で海外に紹介する。	年2回
	国立女性教育会館(又エック)主催事業実施報告書	各年度に実施した研修・交流・調査研究・情報事業の実施概要。	年1回
報告	男女共同参画統計データブック2003 日本の女性と男性	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。(有料頒布)	平成15年度
	次世代育成と公民館—これからの家庭教育・子育て支援をすすめるために—	現代の家庭教育・子育てをとりまく状況、子育てサークル・ネットワークの実態と課題を明らかにした公民館が家庭教育・子育て支援を考えるためのブックレット。(有料頒布)(又エック・ブックレット2)	平成15年度
	生涯学習をいかした女性のキャリア形成事例集	「女性の多様な生涯学習の調査研究」の成果として作成した報告書。キャリア形成に生涯学習をいかした20人の女性の事例集。	平成15年度
等書	女性のキャリア形成支援に関する調査研究報告書	「女性のキャリア形成支援に関する調査研究」の初年度の成果をまとめた報告書。20人の女性のインタビューをもとに、女性のキャリア形成と生涯学習のあり方について分析。	平成15年度
	女性の生涯学習に関する日韓比較研究報告書—女性のエンパワーメントと「学び」—	日本と韓国における女性の生涯学習の実態について、男女共同参画推進の視点からの比較、解明することを目的に調査研究を行い、「日本型中高年女性学習者モデル」および「韓国型子育て期女性学習者モデル」を提示し、両国の女性政策・生涯学習政策と関連づけて分析(科学研究費補助金報告書)。	平成15年度
	女性の生涯学習とエンパワーメント～日本・韓国・ノルウェー・アメリカの4ヶ国比較調査から～	韓国、ノルウェー、アメリカのカウンターパートとの共同研究によって行った「女性と学習関心と学習行動に関する国際調査」の成果をまとめた報告書。	平成16年度
	女性の生涯学習とエンパワーメント～日本・韓国・ノルウェー・アメリカの4ヶ国比較調査から～(概要編)	上記報告書の配布用概要版。	平成16年度

	資料名	内容	発行
報 告 書 等	Women's Lifelong Learning and Empowerment-Results of Comparative Research on Four Countries, Japan, Korea, Norway, USA-	韓国、ノルウェー、アメリカのカウンターパートとの共同研究によって行った「女性と学習関心と学習行動に関する国際調査」の成果をまとめた報告書の英語版。	平成16年度
	キャリア形成に生涯学習をいかした女性たち(改訂版)	生涯学習をキャリア形成にうまく結びつけている20人の女性のインタビューをまとめた事例集。女性たち自身の手記を新たに加え、改訂版として発行。(有料頒布)(ヌエック・ブックレット3)	平成17年度
	キャリア形成にNPO活動をいかした女性たち	さまざまな分野のNPO団体で活躍している21人の女性のインタビューをまとめた事例集。(有料頒布)(ヌエック・ブックレット4)	平成17年度
	女性のキャリア形成とNPO活動に関する調査研究報告書	「女性のキャリア形成にNPO活動をいかした女性たち」(ヌエック・ブックレット4)の成果をもとに、女性のキャリア形成とNPO活動との関係について分析。	平成17年度
	キャリアを拓く女性研究者のあゆみ	研究領域への女性の進出という点から行った調査研究の成果としてのロールモデル集。(有料頒布)	平成17年度
	生涯学習の活用と女性のキャリア形成に関する調査研究報告書	会館と地方の女性関連施設との連携のもと、収集したロールモデルを活用し実施したキャリア支援プログラムの分析。	平成17年度
	男女共同参画統計データブック2006日本の女性と男性	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。「男女共同参画統計データブック2003」に都道府県別データを加えた改訂版。(有料頒布)	平成17年度
	平成16年度・17年度家庭教育に関する国際比較調査報告書	日本、韓国、タイ、アメリカ、フランス、スウェーデンの親を対象に調査を実施し、社会・経済状況・そして文化の異なる6カ国を比較することにより、日本の家族・家庭教育の特徴と課題を明らかにした。	平成17年度
	人身取引問題に関する国際シンポジウム報告書	人身取引問題について、女性のエンパワーメント拠点とその国際ネットワーク構築に向けてをテーマに、国連大学で行われたシンポジウムの抄録(日本語、一部英文サマリーあり)	平成17年度
	女性アーカイブセンター機能に関する調査研究報告—女性の歴史を今に生かし、未来へつなぐ—	女性関係資料の全国所蔵調査を実施し、女性アーカイブに求められる機能と、資料の収集・整理・提供方法を明らかにした。	平成18年度
	夢をかたちにした女性たち将来のキャリアを考えたいあなたへ	会社員や起業家、理工系研究員など、さまざまな分野で働く20代～40代の女性15名へのインタビューをまとめたロールモデル集。女性のキャリア形成・キャリア教育の教材として作成。(ヌエック・ブックレット5)(有料頒布)	平成18年度
	人身取引とその防止・教育・啓発に関する調査研究(資料編1)	日本国内の人身取引に対する「需要」のありようとそれを下支えする社会意識について、平成18年度に行った国内大規模質問紙調査のデータ結果をまとめた資料。	平成18年度
	独立行政法人国立女性教育会館・韓国両性平等振興院交流・協力協定締結記念シンポジウム報告書について	平成18年度に韓国両性平等振興院と交流・協力協定を締結した記念に行われたシンポジウムの抄録。韓国や日本でされている男女共同参画に関する研修についての情報やリーダー像についてのパネルディスカッションを含む。	平成18年度
	アジア太平洋地域の人身取引問題と日本の国際貢献—女性のエンパワーメントの視点から—	平成17～18年度の科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書。地球規模の課題である人身取引の問題について、女性のエンパワーメントの視点から学際的な研究者でまとめた。	平成19年度
	家庭教育・次世代育成支援のためのプログラムに関する調査研究参考資料	子育て支援におけるアウトリーチの取り組みを地域において進めていくにあたって欠かせない地域人材の育成・活用としくみづくりについて、取り組み事例や課題解決に向けた方策等を実践に役立つ基礎資料としてまとめた。	平成19年度
女性の理工系進路選択支援に関する調査研究普及啓発資料	社会教育施設において女子高生の理工系進路選択支援に取り組む意義や、事業を効果的に展開するための具体的な方法、プログラムの展開例等を検討し、資料としてまとめた。	平成19年度	
女性のNPO活動の現状と課題—キャリア支援から地域づくりへ—	平成18～19年度「女性のキャリア形成のためのプログラムに関する調査研究」の成果報告書。女性が代表をつとめるNPO法人への質問紙調査の結果をもとに、必要なプログラムのあり方を検討した。	平成19年度	
「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」普及啓発資料	平成19～20年度「人身取引とその多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」の1年次として、一般市民、学生等に人身取引の問題について理解してもらうためのわかりやすい啓発資料としてまとめた。	平成19年度	

※定期刊行物等の閲覧について／定期刊行物である国立女性教育会館研究ジャーナル、ヌエックNews、NWEC Newsletterは、NWECのホームページ(URL:<http://www.nwec.jp/>)でどなたでも閲覧できます。報告書等については、国立女性教育会館までお問い合わせください。

利用状況

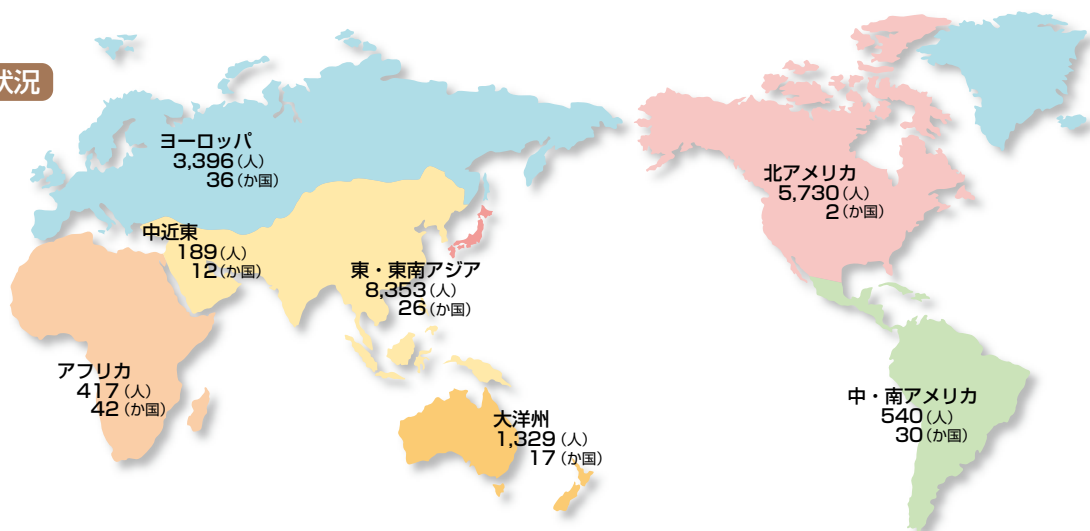
年度別利用状況(昭和52年度～平成19年度)

年 度	平成 17 年度			平成 18 年度			平成 19 年度			累計 (昭和 52 年～)		
	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計
利用団体数	1,069	1,802	2,871	1,161	2,191	3,352	1,138	2,451	3,589	31,568	28,468	60,036
実利用者数 (人)	36,358	56,277	92,635	37,540	67,516	105,056	36,334	73,602	109,936	1,115,513	850,862	1,966,375
延利用者数 (人)	73,188	56,277	129,465	76,161	67,516	143,677	78,492	73,602	152,094	2,414,421	850,862	3,265,283
1日当たりの利用者数 (人)	219	168	387	227	202	429	232	218	450	240	84	324
開館日数 (日)			334			335			338			10,077

外国人の利用状況

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成20年3月末で、165か国から、19,954人となっています。

地域別来館状況



女性教育情報センター利用状況(昭和54年度～平成19年度)

事項	年度	昭和 54 ～平成 18 年度	平成 19 年度	累 計
	資料等利用者総数 (人)		6,997	8,331
貸出数	図書 (冊)	55,607	1,833	57,440
	雑誌 (冊)	26,663	849	27,512
	研修用貸出資料 (冊)	35,755	1,494	37,249
レファレンスサービス (件数)		30,713	1,604	32,317
文献複写サービス (件数)		7,593	2,139	9,732
館外貸出サービス (件数)		1,272	265	1,537
情報研修プログラム (件数)		335	7	342
情報研修プログラム (人数)		8,211	52	8,263
開室日数 (日)		8,980	338	9,318

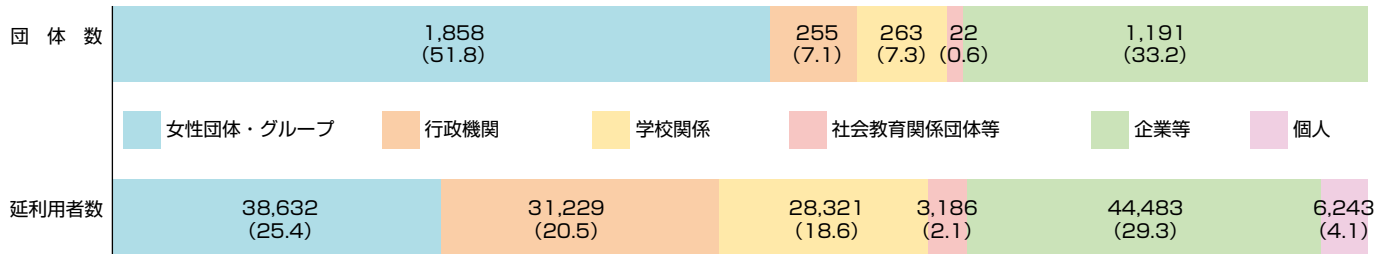
※資料等利用者総数は、平成18年度より集計
レファレンスサービス……昭和56年度開始
文献複写サービス……昭和56年度開始
館外貸出サービス(機関のみ)……平成4年度開始



□ 利用内訳(平成19年度)

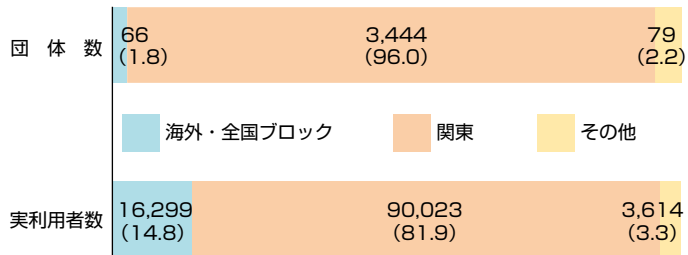
主催者別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



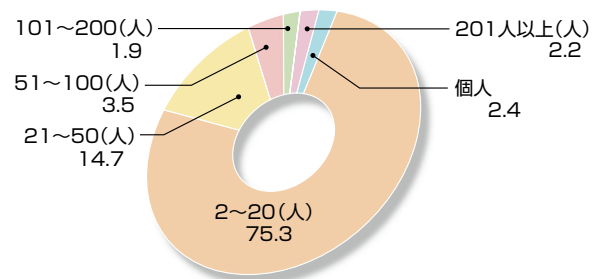
地域別

単位：上段/実数 下段/割合



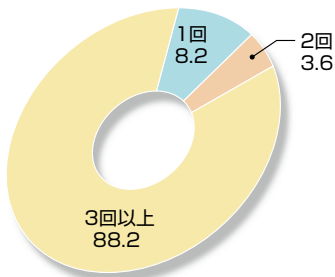
規模別

単位：%



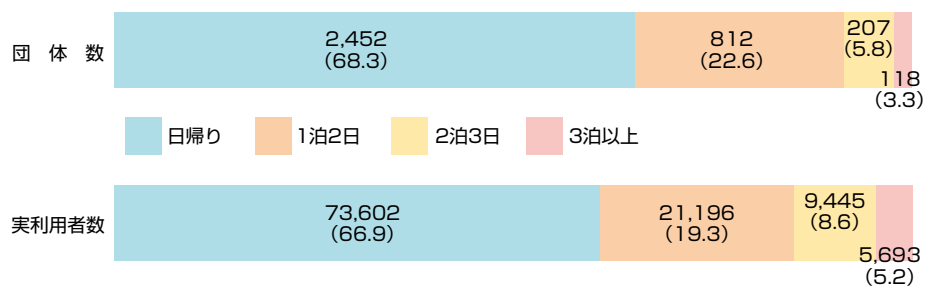
回数別

単位：%



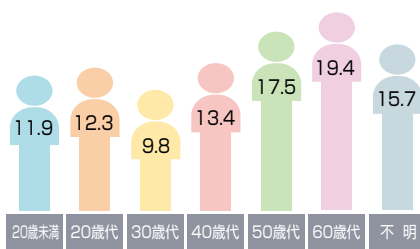
日数別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



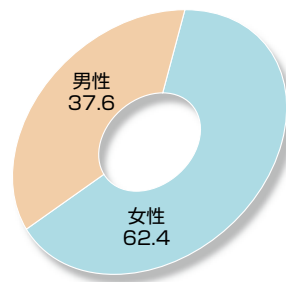
年齢別

単位：%



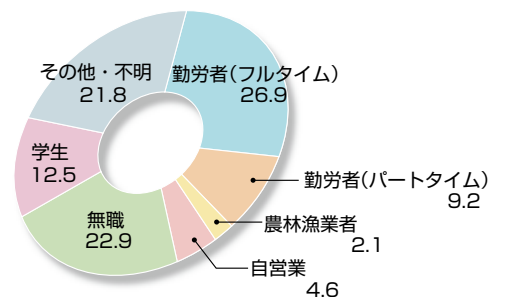
男女別

単位：%



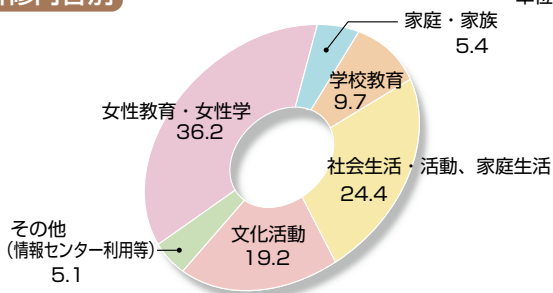
職業別

単位：%



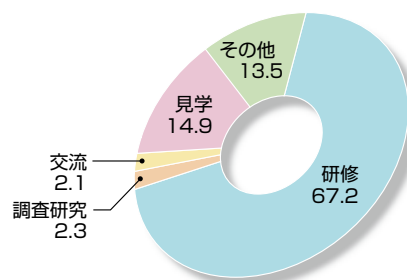
研修内容別

単位：%



研修方法別

単位：%



トピックス

平成19年

	時期	項目
	5月	<p>家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー 開催</p> <p>平成19年5月18日から19日の1泊2日で、「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」を開催しました。家庭教育・次世代育成支援の取組として、支援を必要としている人まで支援を行き届くようにしていくことが大きな課題として挙げられています。</p> <p>セミナーでは、現在行われている「アウトリーチ」の先進事例を通して、支援のSOSを求められるのを『待つ』のではなく積極的に『届ける』ための方策について検討しました。</p> <p>全国各地から105名の参加があり、行政担当者、子育てネットワーク等のリーダー、企業関係者、女性関連施設職員、幼稚園教諭、保育士、民生委員等、地域の子育て支援ネットワーク形成上、重要な役割を担う多様な立場の参加者がお互いに情報交換・交流を深める貴重な機会となりました。</p>
	6月	<p>「『人身取引』と『女性に対する暴力』をなくすために」パネル展示</p> <p>平成19年6月から1年間、「『人身取引』と『女性に対する暴力』をなくすために—最初の一步は「知ること」から—」と題したパネル展示を、調査研究の一環として実施しました。</p> <p>世界的な問題である人身取引の基本定義や実態と構造、日本や各国の政府や市民団体の取り組み、国立女性教育会館の「人身取引と防止・教育・啓発に関する調査研究」の成果等をA2サイズのパネルにして国立女性教育会館の本館、研修棟での展示したほか、地域の女性関連施設や市民団体に貸し出しを行い、啓発活動や研修等に活用されました。</p> <p>平成20年度は大学や地域で実施される教育啓発プログラムで活用されるように、改訂版の貸し出しを行います。</p>
	6月	<p>男女共同参画に関する統計の調査研究</p> <p>国立女性教育会館では、男女共同参画に関する基礎的資料の提供を目的に、男女共同参画統計(gender statistics)の調査研究を継続的に行っています。</p> <p>平成19年度は、平成16年度から3年間にわたって実施した「国別研修カンボジア」(JICA委託事業)の中で、研修の成果を6月に統計リーフレット「Women and Men in Cambodia」およびブックレット「Gender Statistics and Indicators in Cambodia」を作成しました。</p> <p>カンボジア女性省では、この2点を政府刊行物として関係諸方面に配布し、男女共同参画統計の普及を図っています。</p>
	7月	<p>配偶者からの暴力等に関する相談員研修 開催</p> <p>平成19年7月18日から20日の2泊3日で、「配偶者からの暴力等に関する相談員研修」を開催しました。全国の公私立の女性関連施設の相談員の方々を中心に、107名の参加がありました。</p> <p>女性関連施設の相談員として、配偶者からの暴力被害を受けた相談者をどのように支援するか、その担うべき役割を理解し、男女共同参画の視点からDVの構造・特質について学習しました。参加者から事例を募り、実際の相談のケースを通してDVの問題をとらえ、どのように支援のスタンスを見立てていくか留意点や方策について検討を行いました。</p> <p>プログラムには警察や医療機関等との連携等の内容を盛り込み、参加者の実践に役立つ内容としました。情報交換会や地域別ブロック交流会の実施により参加者からは、「同じ悩みを抱えている仲間と話しあえて良かった。今後も連絡を取り合っていきたい」等の声が寄せられました。</p>
	8月	<p>女子高校生夏の学校 開校</p> <p>平成19年8月16日から18日の2泊3日で「女子高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」を開校しました。この事業は、女子高校生に科学・技術分野への魅力を伝え、理工系分野への進路を考える機会の提供を目的に国立女性教育会館と文部科学省、男女共同参画学協会連絡会、日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」の共催により開催したもので、全国から110名の女子高校生が参加しました。</p> <p>3年目の今回は、11の実験・実習、21のポスターセッション・キャリア相談、講師や大学の先生に将来のことを相談する企画、学生企画プログラム等も含めた参加体験型プログラムをそろえ、女子高校生にとって、生きた科学・技術の世界に触れ、新しい出会いと発見の3日間となりました。</p>

	時期	項目
 	8月 9月	<p>男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム 開催</p> <p>平成19年8月31日から9月2日の2泊3日で、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」を開催しました。</p> <p>第1日は、板東久美子内閣府男女共同参画局長による「男女共同参画についての日本の最新動向について」と題した基調講演と、天野玲子氏（鹿島建設（株）土木管理本部土木技術部担当部長）、片山善博氏（慶應義塾大学大学院教授・前鳥取県知事）、樋口恵子氏（評論家）を講師に迎え、「未来へのメッセージ—新たな男女共同参画への取組—」と題するリレートークを行いました。</p> <p>3日間を通して、第2次男女共同参画基本計画を受けた「新たな取組を必要とする分野」や男女共同参画を推進する上での解決が急がれる課題から設定した6つのテーマに添った67件のワークショップが展開され、全国から1,200名を上回る参加がありました。</p> <p>主題である「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～新たな取組を必要とする分野への参画をめざして～」のもと、研究、教育、学習、実践を結び、女性のエンパワーメントをめざす交流の場となりました。</p>
	9月～ 12月	<p>国際協力機構(JICA) 委託事業 開催</p> <p>平成19年度、国立女性教育会館は国際協力機構（JICA）からの委託事業として、新たに2つの事業を開催しました。</p> <p>9月10日から10月5日にかけて開催した「国別研修ナイジェリア」では、JICAが実施している「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」の関係者であるナイジェリアの国立女性開発センター職員及び州レベルの女性省職員を招聘し、日本の女性センターの位置付けや農村女性のエンパワーメント支援方策等についての研修を行いました。</p> <p>また、12月2日から15日にかけて開催した「男女共同参画セミナーⅢ」では、各国の女性のエンパワーメントやジェンダー平等に貢献することを目的とし、各国のジェンダー主流化推進の中心的存在にある行政官を招聘し、課題や経験の共有を行いました。</p>
  	11月	<p>開館30周年記念事業 開催</p> <p>前身の国立婦人教育会館開館から30周年を迎えた11月、これを記念し、さまざまな事業を開催しました。</p> <p>11月20日に、記念式典及び記念祝賀会を開催しました。記念式典では福田康夫内閣総理大臣（大野松茂内閣官房副長官が代読）、池坊保子文部科学副大臣をはじめ7名からの祝辞が読み上げられました。記念祝賀会には上川陽子内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画）や森山眞弓衆議院議員をはじめ、500名を超える参加者がありました。</p> <p>同日、記念国際シンポジウムを開催し、コーディネーターに有馬真喜子氏（特定非営利活動法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）、シンポジストに日本・中国・韓国で活躍する女性リーダー4名を迎え、各国・各分野の女性の人材育成支援における課題についてディスカッションを行いました。</p> <p>翌11月21日に、専門家会議「これからの女性リーダー像とは ～行政・大学・企業・団体での人材育成支援」を開催しました。コーディネーターに原ひろ子氏（城西国際大学大学院客員教授）を迎え、女性の人材育成に取り組む国内外の専門家（中国、韓国、タイ、フィリピン、日本）14名が事例報告と意見交換を行いました。</p> <p>11月30日には日本女子体育大学の監修による「NWECウォーキングコース」を開設しました。</p> <p>また、11月12日～12月16日の約1ヶ月間、平成20年度に控えた女性アーカイブセンター開設の広報を兼ねてコレクションの一部を紹介する展示会を開催し、全国各地や海外から多数の見学がありました。</p> <p>この他、会館の30周年の歴史と功績をまとめた記念誌や、会館や周辺の四季折々の写真を掲載した記念切手シート等を作成しました。</p>



平成20年

	時期	項目
	2月	<p>アジア太平洋地域の女性リーダー・エンパワーメントセミナー 開催</p> <p>平成20年2月14日から23日にかけて、アジア太平洋地域の女性リーダー・エンパワーメントセミナーを開催しました。7カ国から立法・男女共同参画行政・地域での女性の人権推進に携わる多様な立場の12名の参加があり、研修参加者同士の各国実践事例の発表と討議、日本における人身取引対策の実態や女性関連施設に関する施策を視察や講義を通じた研修が行われました。</p> <p>10日間のプログラムを通じて、リーダーのエンパワーメント、研修参加者相互と日本の機関や団体とのネットワークが形成されました。また、最終日には、「成果発表と交流フォーラム：人身取引の需要と供給の撲滅に向けて—国際協力における課題—」が開催され、各国の実態や取り組みの最新情報と、今後に向けた送り出し国と受入国の双方に対する提言がなされました。今後も会館のアジア太平洋のネットワークを通じて、男女共同参画に関わるアジアの課題を解決していくための人材育成に貢献していきます。</p>
 	2月	<p>NWECプログラム「和歌・短歌にみる女性と人間関係」 開催</p> <p>平成20年2月6日～2月7日の1泊2日で、一般の方を対象に、NWECプログラムinらんざん「和歌・短歌に見る女性と人間関係」を開催しました。</p> <p>このプログラムは、男女共同参画社会の形成には「自他の尊重」「人間関係づくり」が重要であるという視点に立ち、「人間関係」「関係づくり」を中心に、生活、生き方、健康づくり、文学等のテーマで実施しているものです。</p> <p>今回は、神田理事長による「人間関係づくり —男女共同参画社会を目指して—」や、歌人の中根三枝子氏による講義「表現としての和歌・短歌」、日本歌人クラブ会長・東洋大学名誉教授の神作光一氏による講義「和歌から見える女性の生き方」「学生百人一首に見る現代女性」、さらに神作氏と国立女性教育会館客員研究員の上村千賀子氏による対話「歌に見る現代女性を取り巻く人間関係」という内容で実施しました。また、参加者同士の関係づくりも重視し、関係づくりの第一歩として、自己紹介・他己紹介を行ったり、夕食会で参加者自身の活動についてPRをしました。</p>
	3月	<p>女性ポータル “Winet (ウィネット)” のデータベース リニューアル</p> <p>日本の女性と男性の生活の全分野にわたる重要な統計を提供している「女性と男性に関する統計データベース」に、更新した表が一覧で見られる「新着情報」ページの作成などを行いました。</p> <p>大学、短大等における女性学・ジェンダー論関連科目について、毎年の調査結果をデータベース化した「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」はトップ画面のデザインを大幅に見直し、検索結果から選んだものを一度に詳細表示させる機能などを追加しました。</p> <p>男女共同参画に関わる様々な質問に対してどのように情報を提供するか、参考となる事例をQ&Aの形でまとめた「女性情報レファレンス事例集」に、新規事例への「NEW」マークの表示機能や、検索結果から選んだものを一度に詳細表示させる機能などを追加しました。</p>

施設



東京・池袋（東武東上線）より所要時間 60 分、武蔵嵐山駅むさしらんざんより徒歩 15 分、清流の都幾川ときがわに沿う緑豊かな丘陵地で、秩父連山を遠くに望む景勝の地です。

施設は 14 ヘクタールの敷地に自然との調和を配慮し、「陽ひに向かい陽ひに帰るかえ」の考えで、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置しています。

所在地	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地
設計	日建設計
監理	建設省関東地方建設局 営繕部 日建設計
敷地面積	138,556㎡
建築総面積	13,144㎡
延床総面積	28,262㎡



□ 棟別階数・構造及び面積等

名称	構造・階級	延床面積
本館（内女性教育情報センター）	鉄筋コンクリート造 3 階・地下 1 階建	8,509 ㎡ (1,085 ㎡)
宿泊棟	A 棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造 8 階・地下 1 階建 B 棟 鉄筋コンクリート造 4 階建 C 棟 鉄筋コンクリート造 3 階建	8,660 ㎡
研修棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造 3 階建	7,470 ㎡
体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,206 ㎡
プール棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,127 ㎡
響（ひびき）書院	木造平屋建	198 ㎡
和（なごみ）庵（茶室）	木造平屋建	18 ㎡
クラブハウス（運動器具庫）	鉄筋コンクリート造平屋建	118 ㎡
車庫等		956 ㎡

□ 本館・宿泊棟

名 称	内 容		施設使用料 (円)
女性教育情報センター	閲覧席31(席)	図書資料・雑誌類・新聞類(開架式)	無 料
	閲覧個室2(室)		無 料
女性アーカイブセンター (平成20年6月12日開設)	閲覧席6(席)	非公刊の記録資料(閉架式)	無 料
展示ホール		本館1階	—
展示室		本館1階	
医務室		本館1階	
ボランティアルーム		宿泊棟A棟1階	
音楽室	50(人)	グランドピアノ・ステレオ等	500円～700円
美術・工芸室	30(人)	七宝焼窯・陶芸用窯・ろくろ等	400円～600円
調理室	32(人)	調理台9台	500円～800円
試食室	32(人)	テーブル8台	300円～500円
幼児室		幼児20名まで収容可能	無 料
食堂	300(席)	カフェテリア方式	—
売店		学習用具・日用品等	
駐車場		バス20台 乗用車170台 この他、草原運動場そばにも駐車スペースがあります。	
ミーティングルーム	1(室)	50人用	300円～500円
談話室	7(室)	各20人用	無 料
浴 室	3(室)	大・小・車椅子使用者用各1室	—

□ 宿泊研修施設

種 別	内 容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数	宿泊者数	施設使用料(円)
和 室	4人用 26室	—	14室	12室	28室	104人	2,000円～2,600円 (1人当たり)
	2人用 2室	2室	—	—		4人	2,200円～2,800円 (1人当たり)
洋 室	2人用 98室	58室	28室	12室	137室	196人	2,000円～2,800円 (1人当たり)
	1人用 39室	39室	—	—		39人	2,400円～3,000円 (1人当たり)
宿泊者合計		99室 159人	42室 112人	24室 72人	165室	343人	



□ 研修棟

種 別	内 容	室 数	内 容	施設使用料 (円)
講 堂	602 人	1	車椅子用移動座席・エレベーター、同時通訳装置、グランドピアノ、音響反射板	4,700 円～ 7,500 円
会議室	大会議室 122 (人)	1	机等の配置：スクール形 外に傍聴席 38、同時通訳装置	1,600 円～ 2,600 円
	中会議室 40 (人)	1	机等の配置：馬蹄形	500 円～ 900 円
	小会議室 12 (人)	1	応接セット (12 人用)	300 円～ 600 円
研修室	150 人室	1	机等の配置：スクール形	1,100 円～ 1,800 円
	99 人室	1	〃	800 円～ 1,200 円
	48 人室	4	〃	400 円～ 700 円
	36 人室	1	〃	400 円～ 600 円
	24 人室	2	〃	300 円～ 400 円
	20 人室	6	〃	300 円～ 400 円
	マルチメディア研修室	1	パソコン 31 台、プリンター 3 台	800 円～ 1,100 円
控 室	団体控室	4	机等の配置：ロの字形 研修室としても使用できます	200 円
	講師控室	4	ソファセット 研修室としても使用できます	100 円



□ 体育施設・日本家屋等

種 別	内 容	施設使用料 (円)
体育館	31m×25m(775m ²):バスケットボール(1面)、バドミントン(3面)、バレーボール(2面)、フットサル(1面)、卓球台(10台)、その他	3,500円～5,800円
屋内プール	25m 6コース	300円(1人1日当たり)
テニスコート	5面(全天候型・砂入人工芝)	900円～1,200円 (1面当たり)
クラブハウス(運動器具庫)	シャワー、トイレ、放送設備等	
草原運動場	約12,000m ²	無料
響(ひびき)書院	茶室15畳、4.5畳、座敷10畳	1,200円～1,700円
和(なごみ)庵	茶室	
ウォーキングコース	1kmコース、2kmコース	無料



NWECウォーキングコースのご案内

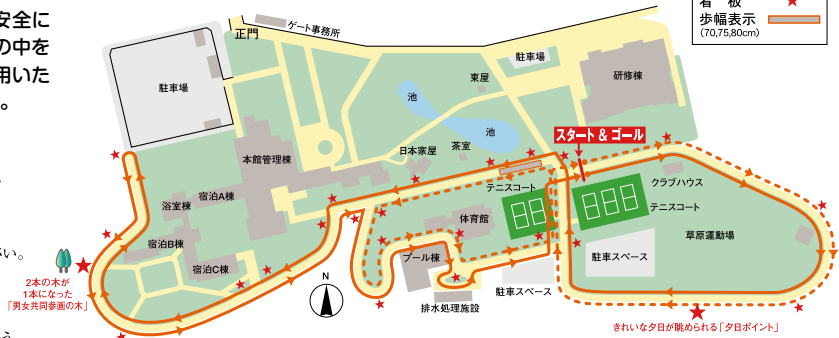
日本女子体育大学の監修を受け、健康づくりに有効で、安全にも配慮したコースです。会館の周りは自然がいっぱい。緑の中を歩いて、心も体もリフレッシュしませんか。お気軽にご利用いただき、皆さんの心身の健康づくりに是非お役立てください。

■ 開設時間

・8:00～18:00(冬場は日没まで)・宿泊の方は6:00からご利用になります。

■ ご利用方法

- ・利用申込みは不要です。
- ・正門ゲート事務所にある来館者票に必要事項をご記入のうえご利用ください。
- ・ペットを連れての入館はご遠慮ください。
- ・コースは1km・2kmの二種類です。
- ・コースにはスタートからの距離や進行方向を設置しています。
- ・準備体操をして、その日の体調に合わせて、無理のないウォーキングをしましょう。



利用案内

□ 利用できる方

女性・男性を問わず、ご利用になれます。

- ・18才未満の方には、保護者・教員等の引率(同伴)が必要です。

※保護者、引率者がいない場合にはご相談ください。

- ・未就学の方の同伴利用については、次の場合とさせていただきます。

①利用プログラム上必要な場合、②幼児室にて団体内の方、または専門の業者等による保育を行う場合

- ・営利目的及び特定の政党、宗教の勧誘・啓発・普及を目的とした利用はできませんのでご了承ください。

□ 利用者の区分

《目的利用者》

以下の①～③のいずれかに該当する方は「目的利用者」となります。

- ①女性・家庭・家族、又は男女共同参画に関する教育、学習、調査研究、情報収集及び交流等を目的とした利用を行う方
- ②国立女性教育会館を利用する学習、研修の一部に女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムがある利用を行う方
- ③国の機関及び地方自治体の女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムによる利用を行う方

例:女性団体・グループの総会、女性のキャリア形成についての学習会、男女共同参画に関するゼミ合宿、PTAの研修会、子育て・食育・親子の体験活動などに関する学習、女性教育情報センターにおける資料閲覧・収集等

《一般利用者》

上記に該当する方以外は一般利用者となります。

□ 申込受付期間

区 分		受 付 期 間
目的利用者	宿泊利用	利用の12か月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10か月前の月の1日から 利用の10日前まで
一般利用者	宿泊利用	利用の10ヶ月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10日前まで

お問い合わせ(電話・文書または来館)

国立女性教育会館(ヌエック)事業課
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL/0493-62-6723(申込み専用)
FAX/0493-62-6720
E-mail/yoyaku@nwec.jp
ホームページ/http://www.nwec.jp/

利用申込書の提出

受 付

入 館

女性教育情報センター(p.6)は、予約なしでどなたでも利用いただけます。



国立女性教育会館ボランティア



□ ボランティアの受け入れ

利用者及びボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れています。

□ ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供しています。



- ① **情報提供及び交流**: 連絡会議(年4回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティアまたボランティア相互の連絡・交流を図っています。
- ② **研 修 活 動**: ボランティアと会館が共に学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」などを適宜実施しています。
- ③ **自 主 活 動**: ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしています。
- ④ **活動状況の広報**: 「ヌエックNEWS」のボランティアコーナーやホームページ等を活用して、活動内容、活動状況の広報をしています。

運営委員会委員



平成20年4月1日現在

氏名	現職
青木 玲子	NPO法人全国女性会館協議会 常任理事
天野 正子	国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授、森永エンゼル財団理事・研究顧問
江上 節子	早稲田大学 公共経営研究科 客員教授
大島 照美子	財団法人新潟県女性財団 理事長
大日向 雅美	恵泉女学園大学大学院 教授
北村 節子	読売新聞 調査研究本部主任研究員
郷 通子	国立大学法人お茶の水女子大学 学長
後藤 祥子	日本女子大学 学長・理事長
鷺谷 万里	日本IBM株式会社 執行役員
島村 和男	埼玉県教育委員会 教育長
鈴木 陽子	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 国際協力専門員
高山 正也	独立行政法人国立公文書館 理事
中畔 都舎子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
野上 武利	社団法人埼玉県経営者協会 専務理事
平松 昌子	国際婦人年連絡会 世話人
広岡 守穂	中央大学 教授
古野 陽一	子育てネットワーク研究会 世話人
三輪 建二	国立大学法人お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科 教授
宗像 道子	共同通信社 編集委員

外部評価委員会委員



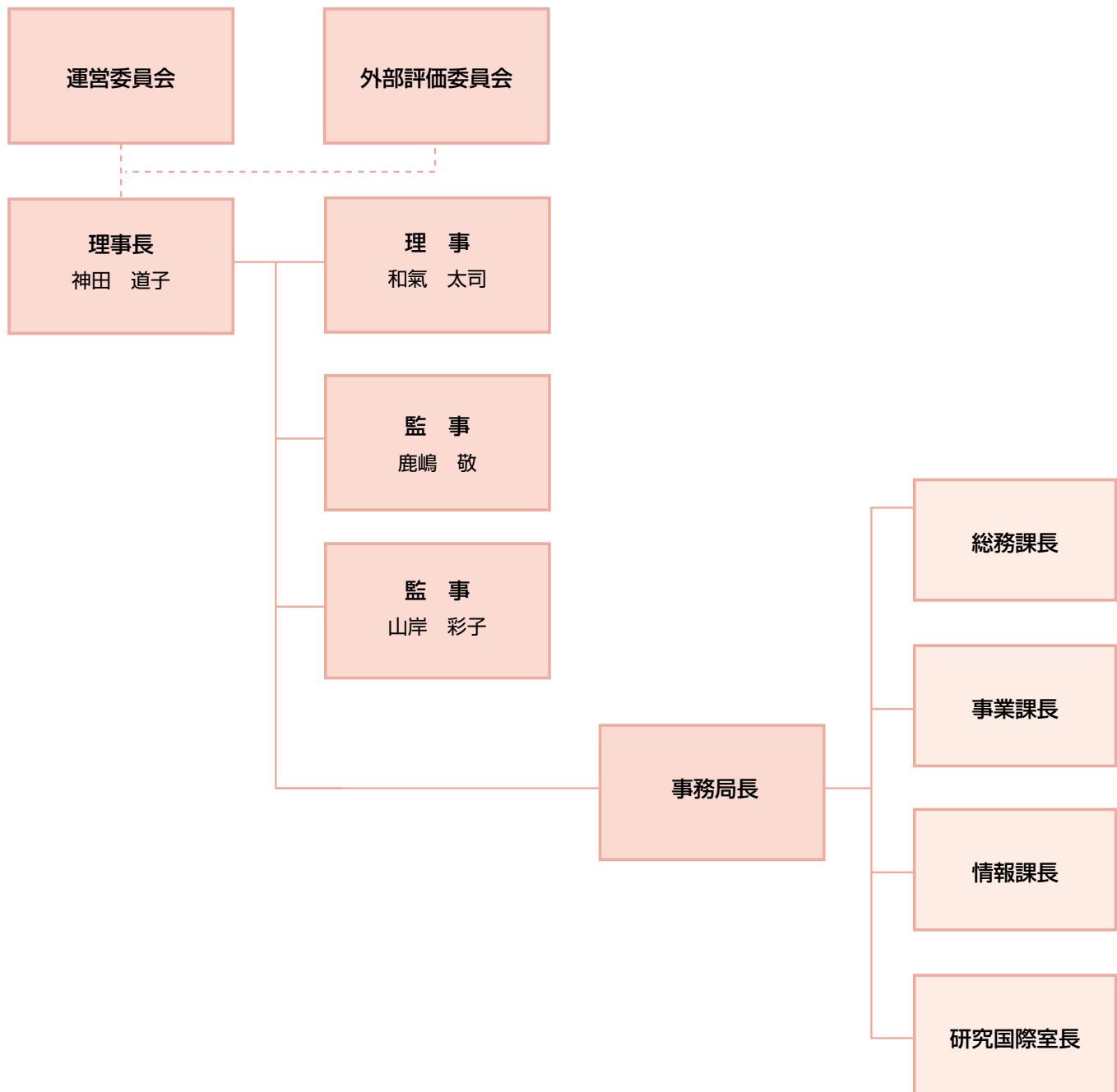
平成20年4月1日現在

氏名	現職
有馬 真喜子	財団法人横浜市男女共同参画推進協会顧問
笹井 宏益	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
澤野 由紀子	聖心女子大学文学部教授
松下 俱子	学校法人恵泉女学園 学園長
三隅 佳子	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム会長

組織図



平成20年4月1日現在



施設配置

